

IODP Expedition 376 2nd post-cruise meeting 開催報告

野崎達生・Iona McIntosh・高井研 (JAMSTEC), 石田美月 (東京大学)

2019年12月01～06日(日～金)にかけて, IODP Expedition 376 (国際深海科学掘削計画第376次航海) のポストクルーズミーティング (PCM) を鹿児島県で開催しました. 7か国から合計で27名の研究者が集まり, 掘削航海で得られた試料を使った研究成果の共有や共同研究の促進・成果の最大化について議論するとともに, 桜島と南薩地域に分布する浅熱水性金鉱床を対象とした巡検を行いました.

12月01日(日): PCM参加者が, 各国から城山ホテル鹿児島に集合しました.

12月02日(月): Introduction, Overview, Igneous petrology, Volcanology, Geochemistry, Alteration / Mineralogy について, 13件の発表と議論が行われました. 途中で昼食を挟みながら, 9～17時まで終日発表と議論を行いました.

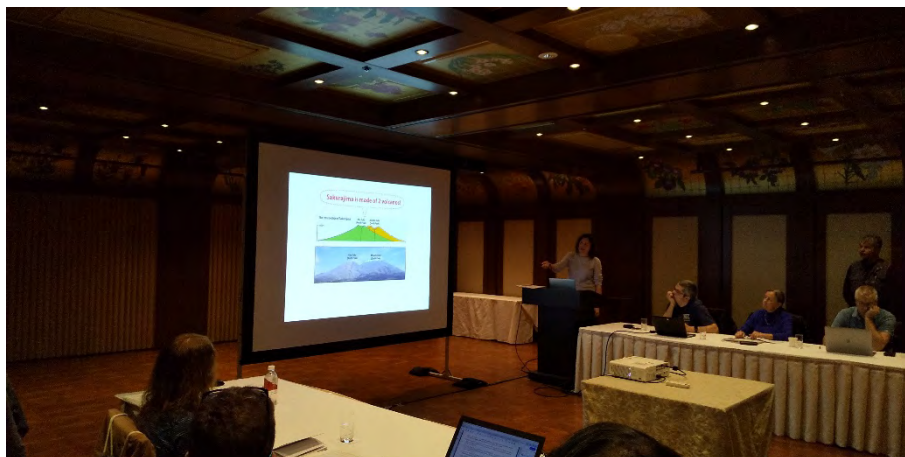


12月03日(火): Alteration / Mineralogy, Paleomagnetism, Physical properties, Downhole measurements, Microbiology について, 11件の発表と議論が行われました. 発表と議論は9～15時で終了し, その後小グループに分かれて議論を続けました.



12月04日(水): General discussion, Future plans / obligations, Field trip logistics, Sakurajima

introduction, Akeshi and Kasuga Mines introduction について、5 件の発表と議論が行われました。発表と議論は 9～12 時で終了し、その後桜島巡検を行いました。桜島ビジターセンター、湯之平展望所、有村溶岩展望所を見学した後に、宿泊先の指宿市へ向かいました。



12 月 05 日 (木): 午前中に三井串木野鉱山 (株) 赤石鉱山を巡検し、午後に JX 金属 (株) 系列の春日鉱山 (株) を巡検しました。その後、宿泊先の指宿市へ向かいました。



12月06日(金): 宿泊先の指宿市を出発し, JR 鹿児島中央駅を經由して鹿児島空港まで戻り, 解散しました.

※3日間の研究ミーティングを通じて各乗船研究者の最新研究結果を共有できたため, 今後の論文化(成果の最大化)および共同研究の拡大に繋がると思います. また, 研究発表・議論に加えて, 各参加者は日本の文化にも触れることができ喜んでおり, 海底熱水鉱床研究における日本のプレゼンスが向上しました. 参加者27名のうち大学院生が5名参加しており, 若手研究者の交流・育成にも寄与することができたと思います. 本PCM開催費用の一部に鳥居・井上基金を使用させて頂きましたことを最後に記し, 御礼申し上げます.